

自然環境 保全活動

助成金のご案内

募集期間 2021年1月12日(火)～2021年3月16日(火)
(当日消印有効)

この助成金は、道内における個人・市民活動団体・調査研究機関など、様々な立場の皆さんのが実施する自然環境の保全とその適正な利用に関する活動に必要な経費を助成することにより、道内の自然環境に関する諸活動を積極的に推進していくことを目的としたものです。



助成の対象となる活動の一例です！！

助成対象者（個人・※団体を問いません）

道内で自然環境の保全とその適正な利用のための活動を自主的、継続的に取り組んでいるか、これから取り組もうとする者。

※NPOや公益法人、大学などの形態をとらない任意団体でも構いません。但し、当財団所定の事業報告や適正な会計報告ができること。

助成の対象となる活動（2022年3月末までに実施・完了する活動）

①自然環境の保全とその適正な利用に関する活動

例えば、森づくり（植樹、緑地の保全・復元等）・河川、湖沼等の浄化清掃。自然観察会、学習会、セミナー等の開催。野生動物の保護並びにその生息環境の保全に関する活動など。

②自然環境の保全とその適正な利用に関する調査研究

例えば、自然環境（山岳・森林・河川・湖沼・湿原等）に係る調査研究。野生動植物及びその生息環境に関する調査研究など。

③上記①②に基づいた普及啓発用の報告書または成果物の刊行



(一財) 前田一步園財団は、ひとりでも多くの人が自然の恵みを未永く享受できるよう、北海道の自然環境の保全とその適正な利用を進めるために設立された法人です。財団では、本事業のほか、阿寒湖周辺の広大な森林を育てる「森林保全事業」や北海道の自然環境の保全に関する様々な自然普及事業（人材育成・顕彰・普及啓発等）に取組んでいます。

助成総額 300万円

決定方法

当財団の審査委員会にて書面審査の上、決定します。

結果発表

申請者全員に対して2021年4月下旬頃に文書にて連絡します。

助成金額

一件につき**100万円**以下とします。

応募方法

財団所定の申請書類を提出してください。
尚、提出された申請書類・資料等は返却いたしません。

■資料請求

(一財) 前田一步園財団 自然環境保全活動助成金係（担当 山本）
〒085-0467

釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目5番2号

TEL 0154-67-2207

FAX 0154-67-2350

URL <http://www.ippo-en.or.jp>

(PDF・Wordファイルにて申請書類をダウンロードできます。)

E-mail k_yamamoto@ippo-en.or.jp

過去3年間の助成実績

(千円)

2018年度		
北広島森の俱乐部コマジミ研究部	科学読み物「コマジミの不思議な暮らし」の制作	710
ユウバリコサクラの会	コサクラの会30周年記念誌制作	800
NPO法人 常呂川自然学校	2018 北の学び・カリバ自然講座	612
北海道海鳥センター友の会	天売島におけるゲンヌメの保全に関する活動	650
知床ウトロ海域環境保全協議会	知床ウトロ海域のケマツリの保全と普及啓発活動	900
合 計		1,661
2019年度		
NPO法人 エトピア基金	霧多布島のラッコたち出版事業	600
NPO法人 増毛山道の会	増毛山道保全整備事業	770
北海道大学大学院 文学研究科地域科学講座	国際シンポジウム『効果的・効率的外来種管理を目指して -外来種対策の先進技術と管理戦略』の開催	500
大表 章二	写真図鑑「蘭越の樹木」の刊行	250
大黒自然研究会	大黒島のコシワヒミツバ繁殖状況調査とシンポジウムの開催	600
NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	地域の子ども達と共に!サロベツ湿原を次世代へプロジェクト!!	700
ヒグマの会	ヒグマの会40周年記録事業「北海道のシボル、ヒグマへ共存への道のり~」	500
合 計		3,920
2020年度		
宮島沼の会	美唄市 フットパス・ハンディ図鑑 宮島沼と防風林周辺で見られる植物の出版事業	600
ネイチャー研究会 in むかわ	「むかわタンチョウ物語」絵本出版事業	770
大雪山・山守隊	近自然工法による登山道修復教本作成業務	500
野幌森林公園を守る会	野幌森林公園におけるクマゲラ保全活動及び生息環境調査	250
ふらっと南幌	幌向原野の再生・管理・保全・調査	600
釧路武佐の会	「釧路湿原 二百花選」制作・刊行	700
合 計		2,350